

3 野営場スロー (神谷元場長挨拶)

平成17年 1月10日

1. 太田山野営場について

浜松連合協議会

1. 設立の経緯

昭和46年8月静岡県朝霧高原に於いて ボーイスカウト世界連盟の主催による第13回世界ジャンボリーが開催されました。

ボーイスカウト静岡県連盟は 開催地県連盟として、静岡県の全面的支援を得て、昭和43年テストキャンプ 同44年国際キャンプ 同45年第5回日本ジャンボリーを現地で開催しました。

これと併行して県内スカウトの3倍増運動を展開、3年間ではほぼ目標を達成しました。

以上の如く 世界ジャンボリーの開催は日本政府、静岡県をはじめとし、日本連盟及び静岡県連盟、静岡県内各地すべての団の総力結集によって成功に導く事が出来ました。

浜松ライオンズクラブはこの世紀の大事業成功を記念すると共に、野外活動による青少年の健全なる成長に、一層寄与する事を願いボーイスカウト浜松地区専用野営場として『太田山野営場』を設立しました。

2. 野営場の沿革

この野営場は、昭和45年浜松ライオンズクラブが、創立15周年事業として引佐町字大田の山林に 地主白岩自治会の協力のもとに、青少年の野外活動が出来る施設を設立致しました。

この事は寄贈碑に次の様に刻まれています。

『この野営場は 浜松ライオンズクラブが 創立15周年を記念して造成し 引佐町に寄贈したものである われらライオンズの ささやかな奉仕のまことを 次の世代のよき担い手たらんと この道場でひたすら研修にいそしむ 若い君らに捧げるために』

昭和46年(1971)5月

浜松ライオンズクラブ

翌46年ライオンズクラブを中心にボーイスカウト、諸団体により運営委員会が発足し、一般に貸出しを始めました。

昭和47年 この施設は引佐町へ寄付され、教育委員会がさらに手を入れ、昭和46年3月まで青少年の健全な育成のため、体育・レクリエーション活動施設として年間1,500人の諸団体の人達に喜ばれて来ました。

その後 町としては業務が繁雑であり、その他緒々の事情によりボーイスカウト浜松地区委員会に総てを譲渡するに至りました。

3. 野営場の目的

ボーイスカウト関係及び他の青少年の団体等を対象として、自然に親しみながら、仲間づくりをすすめ、健全なる青少年が、よりよき社会人となることを期待して開設した野外活動の訓練施設です。

4. 運営と管理

ボーイスカウト浜松地区委員会は これを受けて『太田山委員会』及び『太田山特別会計』を設け運営管理を行っています。(参考資料の通り)

5. 主たる『プレハブ』建造と経緯

当初浜松ライオンズクラブにより建造された、主なプレハブは広場北側の1棟でありました。

昭和47年この施設は引佐町へ寄付され、教育委員会がさらに手を入れ、道路沿いの管理棟・倉庫・トイレ棟・水洗場・配給棟等のプレハブを増築しました。

その後、昭和60年頃に浜松市都市計画の進展に伴い、JR浜松駅前仮設商店街の取り壊しが始まり、その一部を無償で頂き広場南側に現在の中ホール棟と野営本部棟・配給棟(平成8年に玉木工業により改築)・炊事場(川向のプレハブ)を他団体の支援を得て増築できました。

風呂・トイレ棟は当初、全棟トイレでしたが、時代の変遷により平成3年11月にその半分をシャワー室に、半分は水洗トイレにと改装して来ましたが、改装の経費(¥2,278,000)は全額、浜松ライオンズクラブからのご支援により完成しました。

浜松ライオンズクラブ寄贈の北側プレハブ(大ホール講義室)は経年のため老朽が著しく改築の必要にせまられていました。

たまたま、朝霧野営場所在の静岡県連盟所有のプレハブが移転取り壊しとなり、その一部を無償で譲り受け、輸送費及び組み立て費のみ浜松地区が負担して改築しました、平成6年初夏の頃でありました。

また水洗場にプロパンガスを常備し、炊事場兼用に改装しました。

炊事場棟(川向のプレハブ)は当初床張りで生活棟として使っていました。

6. 2008年4月6日 浜松ライオンズクラブ「チャーターナイト50周年記念事業」の一環として太田山野営場改修事業(¥11,000,000)の贈呈を受けた。

7. 各部門の中心 WB2ス(研究会)を数多く南設し、指導の向上を促すべく多大の貢献をした。

目 録

一、金 壺 阡 壺 百 萬 円 也

但し、太田山青少年野営施設

整備事業資金

右贈呈申し上げます

平成十八年四月九日

浜松ライオンズクラブ

会 長 神谷文吾

ボーイスカウト 静岡連盟

浜松連合協議会

会 長 原口芳彦様